

JSAF 外洋計測委員会 議事録

開催日時： 2021年7月8日 18:00～20:00

開催場所： zoom によるオンライン

参加者： 八木計測委員長、川合紀行氏、角晴彦氏、吉田豊氏、水越英次氏、小林 昇氏、飯沢則之(記録)

議 題：

1. 2022年2月開催の外洋合同会議の担当者の件(外洋計測委員会が幹事です)
2. 外洋計測委員会に属する技術委員会の再構築の件
3. 外洋計測委員会の組織と役割の件
4. 「ORC」小委員会の収支改善の件
5. 外洋計測委員長の交代提言の件

討議内容/決定事項

1. 2022年2月開催の外洋合同会議の担当者の件

開催日時、内容等について8月中に外洋安全委員会、レースマネージメント委員会、ルール委員会と折衝し討議する。

2. 外洋計測委員会に属する技術委員会の再構築の件

角氏より、外洋計測委員会の中に技術委員会があるとは認識していない。また技術委員会再構築の提案もしていないが、5月25日に三河湾でのキールボート転覆死亡事故について我々専門家が事故の検証する必要を感じている。保安庁から情報の開示は無く、専門家として検証したい。当該事故について先日の常任委員会に外洋計測委員会の参加者から調査の必要性を提言したところ、常任委員会の意見として技術委員会再構築の打診があった。

近日中に角氏が蒲郡に赴き、情報収集の予定。調査委員会とするには安全委員会等と共同作業が必要となる。技術委員会再構築の結論には至らず、まずは当該事故の情報収集を行う。

3. 外洋計測委員会の組織と役割の件

3-1 JSAFHP にある外洋計測委員会のページは古いコンテンツがそのままにされており。更新の必要性を感じる。JSAF 担当者に更新方法を聞く。

3-2 八木委員長から小林氏に「国際委員会の委員が小林氏から船澤氏に交代されたと聞いている。外洋計測委員会においても船澤氏と交代するのか。」

小林氏；小林氏は昨年 World Sailing Oceanic and Offshore Committee の任期が満了し、船澤と交代した。

八木委員長から「WS の情報等を得るためにも船澤氏も外洋計測委員会のメンバーに加わってもらうことに賛成する。又小林氏には W.S の ORC 委員として存続。」

3-3 八木委員長より「ワンデザインクラス協会の代表者は外洋計測委員会の構成員で無くてもよいのではないか。すでにODC 委員会が存在するし、そもそもキールボートにおけるクラス協会はJ24とメルジェス協会のみであり、それぞれ独立して成立している」に対し川合氏より「各クラス協会が独自のセールナンバーを発給するため JSAF 発給のセール番号と重複すること

がある。その事柄からもワンデザインクラスも外洋計測に含まれるものと考える。また以前は存在していた外洋計測委員会内のワンデザインクラス代表者がいつの間にか削除されていたことは問題ありと思う」。

縷々意見が交わされ、J24 協会、Melges 協会に外洋計測委員会へ意見交換の場として参加を打診することとした。

3-4 入出金管理について討議された。

八木委員長から IRC, ORC の支払依頼を委員長名で JSASF に提出しているが、JSASF との入出金管理は直接契約している各委員会の事務局に依頼してもよいのではないか？に対し、「数年前に両委員会の入出金については外洋計測で統合して JSASF に依頼することになったのではないか。JSASF 寺沢氏の業務が過多となったことも要因の一つ。外洋計測として委員長名で JSASF との入出金管理を行うのが本筋ではないか」等の意見があり、改善の余地ありとして継続討議。

3-5 テクニカル委員会の件

川合氏から「前回の改定でテクニカル委員会の設置が RRS に記載された。テクニカル委員会は何をどのように実施すればよいか明文化されたものが無かったので、ガイドライン的なものを用意するべきではないか。内容から安全委員会との共同作業になるものと思われる」との発言があり、八木委員長も同感と発言。

4. 「ORC」小委員会の収支改善の件

八木委員長；上部から ORC 委員会の収支改善について検討を求められている。

吉田氏；ORC 委の収支は証書の発行を増やせば改善される。しかしながら植松文書で ORC のプロモートは制限されており、外洋計測委員会から技術保持に範囲を制限された。そのため計測講習会を開催し次世代の育成に努めている。赤字は行動制限を課せられているためである。制限がはずれれば収支改善は可能である。

角氏；組織の活動とは組織を維持するために活動するのでは無い。組織はユーザーにサービスを提供するために存在するものと考える。

吉田氏；JSASF の予算がひつ迫しているらしいと聞こえてくるが、我々を含めた各委員会はこれまで数年にわたって支出削減に努力してきた。さらなる削減はいさか厳しい。五輪に予算を取られるので委員会に渡す予算を削減するのは本末転倒ではないか。」

八木委員長；上部からの意見であるので議題に挙げたが、国際ルールの維持管理は MNA としての JSASF の本来の事業もあるので、何としても収支を合わせろという考えには疑問もある。引き続きの討議とする。

5. 外洋計測委員長の交代提言の件

IRC 委員会の総意として委員長交代の提言があり、新委員長として川合氏が推薦された。八木委員長は交代に同意した。他の委員も同意し、新委員長は川合氏に決した。

以上

文責 飯沢